

第十三回 帝國議會 衆議院不動産登記法案審查特別委員會速記錄

(第二號)

(五四)

明治三十二年一月二十八日午後一時三十分開議

○委員長(中村榮助君) 諸君、唯今ヨリ委員會ヲ開キマス、地所登記手續第一節通則中ノ第三十二條ヨリ三十七條マデ、併セテ開クコトニ致シマス

○(西原清東君) 此三十二條ニ付テ伺ヒマスガ假處分ノ命令ハ、不動産所在地ノ區裁判所ヨリ發スルコトニ一區裁判所ノミ發スルコトニナッタヤウニゴザイマスガ、從前ハ訴ヲ受ケテ居ル地方裁判所ノミ命令ヲ發シテアッタヤウニ思ヒマスガ、今ノ民事訴訟法モ、サウナッテ居ルト思ヒマスガ、茲ニ區裁判所ノミ發スルヤウニ見エテ居ルノハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(田部芳君) 本條ニ於キマシテ「假處分命令ノ正本云々」ト云フコトハ、民事訴訟法ノ假處分ト云フコト、其言葉ハ同ジデアリマスガ、是ハ民事訴訟法トハ別物デアアル、民事訴訟法ニアッテハ變ラヌノデ、民事訴訟法ハ民事訴訟法デ、假處分ヲスルコトハ無論妨ゲナイガ、此假登記ニ付イテハ、兎ニ角假ニ人ノ不動産ノ上ニ本當ノ登記ヲスルマデノ間ニ假ニ登記ヲシテ、尙ホ其權利ヲ認定スルコトハ漫リニヤルコトデハ弊害ガアルガ、其區分ケト云フモノヲ裁判所ニ附サセルト云フ方カラ致シマシテ、是ハ假登記ヲスベキ場合ハ、假登記ヲスル、詰リ其判斷ヲ裁判所ニサセルト云フ旨意カラ、此不動産ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ參リマシテ、假登記ヲ許シテ下サイト云フテ許可ヲ得ル手續デアリマス、茲ニ言フ假所分ト云フハ、民事訴訟法ノト理窟ヲ云ヘバ、一種デアアツテモ、アレトハ別ノモノデアリマス

○(山田喜之助君) 此三十二條ノ末ニ「申告ヲ却下シタル決定ニ對シテハ即時抗告ヲナスコトヲ得」トアル、即時ト云フノハ、其期間ハ如何デス

○政府委員(田部芳君) 是ハ御承知ノ通り此抗告ニハ二種類アリマシテ、通常ノ抗告デハ別ニ期間ガナイ、即時抗告ト云フニ付イテハ期間ガアリマシテ、其期間内ニ於テ抗告ヲシナケレバナラヌト云フノデアリマス、ソレハ慥ニ一週間ト記憶シテ居リマス

○委員長(中村榮助君) モウ御質問ガゴザイマセヌナラ、先ヘ進ミマセウ、三十八條ヨリ以下四十九條マデ往キマセウ

○(西原清東君) 四十條ニ就イテ伺ヒマスガ、四十條ノ場合ニ「副本ヲ提出スルコトヲ要ス」トアリマスガ、此場合ニハ一般正本三ツデ事ガ足ルノデアリマスガ……

○政府委員(田部芳君) 御説ノ通りデアリマス、普通ハ申請書或ハ通知書、唯登記原因ヲ證明ガナイトカ、又ハ提出スルコトガ出來ヌト云フ場合ニ限リマシテ、副本ヲ出サセルト云フ旨意デ、是ハ後ニ出テ居マスガ、少シ必要ガアリマスノデ、ソレハドウ云フコトニ必要カト云フニ、此法案ニ付キマシテハ、其登記ヲスルト登記済證ト云フモノヲ渡ス、即チ譬ヘテ申シマセ

ウナラバ、賣買ニ依ッテ所有權ノ移轉ガアッタ場合ニ登記ヲスルニ賣買契約書ガアル、其契約書ヲ登記所ニ出シマス、其證書ニ依ッテ所有權移轉ノ登記ヲシタト云ヘバ、此法律ニ極メタコトヲ書キマシテ登記ノ印ヲ捺シテ登記ガ濟ンダモノト云フコトヲ證明スルコトニナリマス、所ガ賣買ノ契約書ト云フモノガ無イトキハ、ドウモソレヲ登記済證ヲ捺ヘル紙ガアリマセヌカラ、申請書ノ正本ノ方ハ登記所ノ方ニ保存シテ置カナケレバナリマセヌガ、申請人ニ下附スルタメニ登記所ガ困ル、ソレハ紙ガアリマセヌカラ、申請書ヲ作ラセテ、登記済證ヲ證スル、斯ウ云フ仕組ナノデアリマス

○委員長(中村榮助君) ソレデハ御質疑ガナケレバ、次ヘ進ミマセウ、五十條ヨリ五十九條マデ議ニ附シマス

○(西原清東君) 四十九條ニ、登記官吏ハ左ノ場合ニ限リ理由ヲ附シタル決定ヲ以テ申請ヲ却下スルコトヲ要ス云々トアリマスガ、是ハイッレ決定書ヲ作ルノデセウガ、決定原本ヲ登記所ニ保存スルト云フ正式ノ手續ヲサスルノデスカ

○政府委員(田部芳君) 決定ヲ致シマスニ就イテハ、必ズ書面ヲ作ラナケレバナラヌカドウデアアルカト云フコトハ、此法案決定メテナイガ、實際ハ書面ヲ作ルコトニナラウト思ヒマス、サウシナケレバドウシテモ實際動キガ付キマス、法文ニハ極メテナイガ、書面ヲ作ッテ、ソレヲ以テ、或ハ當事者ニ送達スルト云フコトニナラナケレバ往ケマイト思ヒマス

○委員長(中村榮助君) 先キニ進ミマス、六十條カラ六十九條マデ……

○(平岡萬次郎君) 此六十三條ノ登記ニ付キ錯誤又ハ遺漏アルコトヲ發見シタルトキハ、遲滞ナク其旨ヲ登記權利者及登記義務者ニ通知スルコトヲ要ス、但登記權利者又ハ登記義務者ガ多數ナルトキハ、其一人ニ通知スルヲ以テ足ル、ト斯ウアルガ、通知ヲ受ケタ一人カラ、殘レル人々ニ通知スルデアラウト云フコトデ、一人ニ通知スレバ足ルト定メタノデアラウガ、隨分世ニハ粗漏ノ者ガアルカラ、是ハ唯其通知ノ書面ヲ寫ス手間ガ入ルダケデアラウト思ヒマスガ、是ハ一人ニ通知スレバ足ルト認メラレタノデアリマスガ

○政府委員(倉富勇三郎君) 此場合ハ登記權利者登記義務者共ニ同一ノ利害ヲ持ッテ居ル場合デアアルカラ、其内ノ一人ガ通知サヘスレバ、共同權利者共同義務者ニ通知スルノハ當然デアラウト思フ、特ニ登記上ノ手續ハ場合ニ依ルト數百人ノ義務者權利者ノアル場合ガアルカラ、サウ云フ場合ニハ其中ノ一人ニ通知スレバ宜シイト云フコトニヤレバ、十分デアラウト思ヒマス

○(平岡萬次郎君) 一人トカ二人トカ連帶トカ云フ場合ナラバ、間違ハアリマス、唯今例ニ引カレタ多クノ場合デアルト、尙更粗漏ガ起ラウト思

ヒマス、錯誤ノアツタ場合ニハ、矢張皆へ通知シテヤラヌト、同ジ義務ヲ持
チ同ジ權利ヲ持ツテ居ッテモ、其互ノ間ニ利害ヲ異ニスル場合ニモ往々アル、必
ズ一人カラ他ニ通知スルモノトモ思ハレマセヌガ

○政府委員(倉富勇三郎君) 多クサウ云フ場合ハ、登記申請ヲ或者ニ委任シ
テアル場合デアラウト思ヒマスガ、登記簿ハ多數ノ人ニナルト書キ切レヌカ
ラ、別段ニ帳簿ヲ設ケテ居ル位デアルカラ、唯今ノ懸念ハナカラウト思ヒマ
ス

○委員長(中村榮助君) 七十條ヨリ七十七條マデ……

(質問ナシ)ト呼フ者アリ

○委員長(中村榮助君) ソレデハ次ノ條ニ進ムコトニ致シマスガ、第二節所
有權ニ關スル登記手續、第七十八條ヨリ八十五條マデ

○(西原清東君) 七十八條ノ一部移轉ノ登記ト云フコトニ付イデハ、一筆ノ
地所ナリ家屋杯ヲ分轄シテ登記ヲ請フ規定デゴザリマスガ

○政府委員(田部芳君) 所有權ノ一部移轉ノ登記デアリマスガ、是ハ民法
ノ第二百五十六條第一項但書ガ延ビテアリマスルニ依ッテモ、詰リ共有ノ場
合ヲ云フノデアリマシテ、此分轄ヲシテ——一筆ヅ、ヲ分轄シテ、其一筆ヲ
賣ルトキノハ、後ノ規定ニアリマスノデ、是ハ不分ノ一部ニ入ルノデアリマ
ス

○(根本正君) 七十九條デ、土地ノ分合滅失、或ハ反別等ノ變更ノアツタト
キハ、遲滞ナク届ケロト云フコトデアリマスガ、若シ之ヲ申請シナイデ居ッテ
モ差支ハアリマセヌカ、ソレニ付イテ罰スルトカ、或ハ無効ニナルトカ云フ
制限ハ、茲ニアリマセヌヤウデスガ、之ハ別ニ民法トカ何カニアリマスノデ
スカ

○政府委員(田部芳君) 土地ノ分合滅失等ノアリマシタ場合ニ、變更ノ登記
ヲ申請スルコトヲ要スルト云フコトハ、本條ニ義務トシテ定メテアリマス、
其義務ニ違背シテ登記ヲ申請セヌカラト云ッテ、直接ノ制裁ハ定メテアリマ
セヌガ、若シ後來其變更ノアツタニ拘ハラヌ、登記セズ置イデ、サウシテ登
記ヲ申請スルト云フコトデアレバ、第四十九條ニ依ッテ書面ト登記簿ト符合
シナイト云フコトカラシテ、登記ノ申請ハ却下スルコトニナリマスカラ、勢ヒ
變ヘテ置カナケレバナラヌト云フコトニ其方カラナリマス

○委員長(中村榮助君) 別ニモウ質問モナイヤウデスカラ、先キへ進ミマセ
ウ、第八十六條以下九十四條迄

○(西原清東君) 此條ニ付イデハアリマセヌガ、頻リニ修正ガ出來テ居リ
マスガ、提出後ニ斯様ナ修正ハドナタカナスツタノデゴザイマスガ、其事ヲ
伺ヒマス

○政府委員(倉富勇三郎君) 前期ニ提出シマシタ後、尙ホ再應ノ調査ヲ遂ゲ
マシテ、此修正ハ法典調査會デ加ヘタノデアリマス

○委員長(中村榮助君) 御質問モアリマセヌヤウデアリマスカラ、先キへ進

ミマセウ、第九十五條カラ百五條マデ

○(横山通英君) チョット後ニ戻ッテ御質問致シマスガ、此九十條ニ土地臺
帳所管廳ト云フノハ、縣廳トカ稅務署ノコトヲ指シタノデアリマセウガ、是
マデ登記ヲ申請スル際ニ、申請人ノ出シタ書面ト登記ノ臺帳ト符合セヌノデ、
ソレノタメニ色々訂正願ヲ差出スヤラ何ヤラスルコトガ、度々アルノデアリ
マスガ、其後ハ此所管廳ヨリ反別ノ増減トカ土地ノ分合ト云フモノハ、總テ
一々登記所ニ通知スルコトニナルノデアリマスガ

○政府委員(田部芳君) 本條ニ於キマシテ「土地臺帳所管廳」トアリマスノ
ハ、御説ノ通り收稅署ヲ指シマス、收稅署ニハ土地臺帳ノ原本ガゴザイマス、
其寫ガ今日デハ各區裁判所並ニ出張所ニ備ヘテアリマス、ソレハ明治二十六
年カラ備ヘテアリマスノデ、其後大藏省トモ協議ヲシテ異動ガアリマス、既
登記未登記ニ拘ハラズ、早速通知スルコトニナッテ居リマス、デ實際マダ完
備ト云フ譯ニハ行キマセヌガ、初メノ間ハ急イデ寫シマシタカラ、多少誤リ
モアリマシタガ、追々讀合ヲ致シテ、今日デハ正確ナモノニナッテ居リマス、
此後ハ間違ヒ杯モ少ナカラウト存ジマスカラ、ソレガタメニ却下サレルト云
フコトモ餘程少ナクナラウト思ヒマス

○(關直彦君) 條項デハゴザイマセヌガ、之ヲ通ジテ見マスルト、登記官吏
ノスベキ仕事ヲ規定シタノト、人民ガシナケレバナラヌ仕事ヲ規定シタノト、
前後錯雜シテ居リマスガ、何トカ編纂ノ仕方ガナカッタモノデスカ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ如何ニモ御説ノ通りデゴザイマスガ、先ヅ
最初ニ申請ノ手續ヲ規定シテ、ソレカラ登記ヲスル、斯ウ云フ順序ニナッテ
居リマスカラ、申請ノ手續ト登記ノ手續ト混ジテ居リマスガ、是ハ前期ノ議
會ニ提出シタノ考案カラ、斯ウ云フ順序ニナッテ居リマスノデ、一面カラ
見レバ錯雜ト云フ考モ起リマスケレドモ、此法律ノ解釋トシテハ、却テ宜カ
ラウト思ヒマス

○(關直彦君) 百四條ノ世襲財產ノ場合ハ、不動産ヲ所有シテ居ル華族ガ申
請ヲシテモ宜イノデスカ

○政府委員(田部芳君) 此條ニ現ハレテ居リマス通り、當該官廳ヨリ登記ヲ
囑托スルト云フコトニナッテ居リマス、當該官廳ト申シマスノハ、實際ハ宮
内省デゴザイマス、宮内省ガ認可ヲ與ヘテ宮内省ノ方カラ登記所ノ方ヘ囑託
スルト、兩方便利デアラウト云フコトデ、斯ウシタノデゴザイマス

○委員長(中村榮助君) ソレデハ先ヘ進ミマス、百六條以下百十四條マデ
○(根本正君) 第六十六條ノ「建物ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者トシテ登記簿
ニ登記セラレタル者」若シ單ニ土地ヲ借りテ家ヲ建テタ時分ニハ、地主ノ與
印ガ要リマスガ

○政府委員(倉富勇三郎君) 唯今御問ノ土地ヲ借りテ其上ニ建物ヲ有ッテ居
ルト云フ場合ハ、百六條ノ第三ノ「既登記ノ敷地ノ所有者又ハ地上權者ノ證
明書ニ依リ自己ノ所有權ヲ證スル者」此點デ參リマス

○(根本正君) 要ルノデスナ

○政府委員(倉富勇三郎君) ハイ

○(根本正君) 是カヲモ要スルノデスナ

○政府委員(倉富勇三郎君) 是ハ初メテ登記ヲスルトキノ手續デゴザイマス

○(岡野寛君) 百六條ニ「左ニ掲ケタル者ヨリ之ヲ申請スルコトヲ得」ト云フ

○政府委員(田部芳君) 此法案ニ於キマシテ、一度登記ヲ致シマスルト、其

登記ニ變更ヲ生ズルトキハ、更ニ登記ヲシナケレバナラヌト云フコトハ極テ

居リマスガ、未ダ登記シテナイモノニ付キマシテハ、其不動産ノ上ニ有テ

居ル權利ヲ確メ、又第三者ニ對抗スルタメニハ、登記ハシナケレバナリマセ

ヌガ、併シ其事ヲ除キマシテハ、無論登記ヲセヌトモ差支ハナイ、是ハ初メ

テ登記スルトキニ是ダケノ條件ガ要ルト云フノデゴザイマス

○委員長(中村榮助君) ツレデハ次ノ條ニ移リマス、第五百五條ヨリ第二百二十

四條マデ——御質問ガナケレバ次ニ進ミマス、次ハ第二百二十五條ヨリ百三十

二條マデ

○(關直彦君) 百三十二條ノ意味ハドウ云フ意味デスカ

○政府委員(田部芳君) 誠ニ分リニクイ箇條デゴザイマスガ、是ハ斯ウ云フ

コトヲ申シマスルノデ、例ヲ舉ゲテ申シマスル方ガ却テ早ク御分リニナル

カモ知レマセヌ、茲ニ一ノ土地ガアリマス、其土地ハ既ニ登記ニナツテ居ル、

其土地ノ上ニ例ヘバ永小作權トカ地上權トカ云フモノガ設定シタル、其永

小作權トカ地上權トカ云フモノノ例ヘバ抵當ニスルコトガアリ得ル、サウス

ルト三段ニナリマス、土地ト云フモノハモウ登記ニナツテ居リマス、併シ土

地ノ上ニ設定セラレタ權利ハ無登記デアツテ、無登記ノ上ニ更ニモウ一ツノ

物權ガアルト云フトキコトヲ云フノデアリマス

○(西原清東君) 之ヲ命ズル裁判ニ依ルト云フコトニナルト、裁判所ヨリ必

ズ命令ヲ受ケネバナラヌコトニナリマスガ

○政府委員(田部芳君) 本案ニ於キマシテハ、其當事者双方ガ申請致シマス

ルト云フノガ原則デアアル、其手續ニ依ツテ登記ノ出來ルコトハ、前ノ通俗法

カラシテ明瞭デアアル、併ナガラ此變例ト致シマシテ、當事者ガ一致セヌトキ

ハ、ドウシテモ裁判トカ云フモノニ依ラナケレバナラヌ、又例ヘバ所有權以

外ノ權利ハ登記シテナイ、其權利ヲ持ツテ居ルノハ一緒ニ登記ヲ申請スルコ

トハ、望マナイ不同意デアアルト云フ場合ニ、其同意ノナキニ拘ラズ、尙ホ一

方ノ申請ニ依ツテ登記ヲスルト云フノニハ、根據ガ確カデナケレバドウモ出

來ヌ、ツレデアアルカラシテ、先ヅ裁判ニナルヤウナ場合ニナレバ、シテ宜カ

ラウト云フ趣意デアリマシテ、其場合ヲ想像シテ極メタ、是ハ實際カラ申シ

マスルト、例ヘバ所有權以外ノ權利ヲ持ツテ居ル者、又所有權以外ノ權利ヲ

持ツテ居ル者ガアル、其二人ノ上ニ爭ガアリマシテ、結局訴訟ヲシナケレバ

片ガ附カナイ、ツレデアリマスカラ、所有權以外ノ權利ヲ持ツテ居ル者ガ、

其所有權以外ノ權利ヲ持ツテ居ル者ニ對シテ、契約上手續ヲシナケレバナラ

ヌ義務ガアルモノデ、併シ其義務ヲ履行シマセヌカラ、訴訟ヲ起シテ判決ヲ

受ケテ、其判決ニ依ツテ誰ハ權利ノ登記ヲ爲スベキモノデアルト云フ判決

ガアリマシタトキニ、其判決ニ依ツテ登記ガ出來ル、斯ウ云フコトヲ言フタ

ノデアリマス

○(根本正君) 斯ウ云フ風ナモノヲ立テルニ就イテ、理由書トカ或ハ説明書

トカ云フモノガ、其筋デハ出來テ居ルモノデアリマセウカ

○政府委員(田部芳君) 前期ノ議會ニハ、各種ノ法案ニツレノ參考書ト云

フモノガアリマシタ、此不動産登記法案ニモ極ク簡短デアリマスケレドモ參

考書ガアリマス、ツレニ荒増シノコトガ書イテゴザイマスガ、併シ御承知ノ

如キ法案デゴザイマスカラ、一々精シイコトヲ書クコトハ實際ムヅカシイ話

デアリマスカラ、ツレデ別段ニ精シイコトヲ書イタモノハゴザイマセヌ、併

ナガラ登記ヲ扱ヒマスル所ノ登記所ニハ、一昨年デゴザイマシタカ、既ニ此

法案ノ調査會デ極マリマシタ後ニ、各地方裁判所區裁判所等ニ配付致シマシ

テ、意見ヲ徴シタゴトガゴザイマシタ、ツレデ實際ニ於キマシテハ、モウ此

新法案ニ依ツテドウシテ之ヲ扱ッタラ宜シイト云フ、演習ノ如キコトモ隨分

ヤツテ居ルラシイ、又研究モ致シテ居リマスカラ、實際當局者ハ格別非常ナ

困難ヲ感ジナイデアラウ、又其外ニモイヅレ帳簿ノ書式ナドモ定メネバナリ

マセヌ、ツレニ色々ノ例ヲ成ルベク多ク掲ゲテ、サウシテ示シタナラバムヅ

カシイコトモ餘程明瞭ニ分ルヤウニナラウト考ヘマス

○(平岡萬次郎君) 此百三十六條等ニ關聯シタ條項デゴザイマス、前ニモ

アツタヤウデゴザイマスガ、先取特權ト云フモノヲ保存スルニ付イテハ、矢

張登記ヲシナケレバナラヌト云フノハ、成程斯ウシテ置ケバ、極ク宜イヤウ

デゴザイマスガ、民法上ノ先取特權ト云フコトニ付イテハ、保存シナケレバ

ナラヌ——此不動産ニ付イテ保存スル手續ヲ必要トスレバ其他ノ先取特權ニ

付イテモ矢張色々ソノ動産デアレバ、ツレヲ自分ノ手許ヘ取ツテ來テ置クト

云フヤウナ必要ガアリマスル譯デアリマスガ、之ヲヤラナケレハ其先取特權

ヲ與ヘヌトスルト、先取特權ト云フコト、斯ウ云フ書入登記ト云フヤウナ事

柄トハ、少シモ變ラヌヤウニナツテ來マスルガ、此邊ハドウ云フ譯ナノデアリ

マスガ、日本ノ民法ト云フモノハ、サウ云フ先取特權ト云フモノニ就イテハ、

幾ラカ變ツタモノデアアルカ、先取特權ト云フモノハ、書入杯ト同ジャウナコ

トニ至ルノデアリマスガ

○政府委員(田部芳君) 私カラ詳シイ事ヲ申上ゲル必要モナイ位カト思ヒマ

特權ニ付イテハ、特別ノ擔保ヲ持タナイモノニ對シテハ、無論對抗ハ妨グヌガ、併シ登記ヲ爲シタ第三者ニ對シテ對抗ヲシヤウト云フタメニハ、此登記ヲ必要トスルノデアリマシテ、此抵當權ハ先取特權トハ、此點ニ於テモ違フノデアリマス

○委員長(中村榮助君) 先ニ進ミマセウ、百三十六條カラ第三節ノ終百四十條マデ參リマス——御質問ガゴザイマセヌケレバ、先ニ進ミマス、次ハ第四節全部、百四十一條カラ百四十九條マデ……

○(根本正君) 此即日ト云フコトハ、法律デ或ハ一週間トカ何トカ極ッテ居リマスガ、遲滞ナクノ方ハ

○政府委員(田部芳君) 昨日モサウ云フ御尋ガアリマシタガ、遲滞ナクト云フノハ、文字ノ通りデ遲滞ナクト云フ方ハ、或ハ一日トカ二日トカ云フ期限ハナイ、怠ラズニ成ルタケ早クスルヤウニト云フ位ナ意味デアリマセウ、場合ニ依ッテ多少ノ長短ハアリマス、餘程融通ノキク所ハ、却テ便利デアラウト思ヒマス

○委員長(中村榮助君) ツレデハ先ニ進ミマセウ、第五章全部、百五十條カラ百五十九條マデ

○(平岡萬次郎君) 此登記官吏ノ決定又ハ權利ヲ害セラレタルモノハ、管轄地方裁判所ニ抗告スルコトヲ得トアリマスガ、權利ヲ害セラレヌケレバ、此登記手續キニ違ッタコトヲ登記官吏ガシテ居ッテモ、申請人ハ抗告スル途ガナイ譯デアリマスガ、其點ヲ……

○政府委員(田部芳君) 此法文ニアリマスル通り、權利ヲ害セラレ、ト云フコトガ、抗告ヲスル條件デアルト云フコトハ、法文通りデアリマスガ、然ラバ權利ヲ害セラレ、ト云フノハ、ドウ云フ場合ニ權利ヲ害セラレルコトニナルカト云フコトハ、ソレハ各條ノ規定ニ依ッテ分リマスノデ、例ヘバ却下スベキ場合デナイノニ却下サレタメニ、抵當權ガ早ク登記ガ出來ヌトカ、或ハ爲メニ權利ヲ後ラセラル、トカ云フヤウナコトガゴザイマスカラ、ソレハ色々ナ場合ガアラウト思フ、又或ハ千圓ノ抵當ニ取ッタノデアリマスガ、ソレヲ千圓ガ間違ッテ百圓トナッタメニ抵當權者ガ損害ヲ受ケルト云フヤウナ事モアル、イッレ此解釋ハ實際適用上種々ノ事ニ當ラウト思フ

○(平岡萬次郎君) サウスルト斯ウ云フ意味デスカ、登記官吏ノ決定又ハ處分ニ異議アル者ハ、管轄地方裁判所ニ抗告ヲナスコトヲ得ト云フ意味ト見テ宜シイノデゴザイマスカ、異議アルモノハト云フコトニ……

○政府委員(田部芳君) 異議ト仰セラレルノガ、ドウ云フ意味デアルカ知レマセヌガ……

○(平岡萬次郎君) ツレデハ其意味ヲ説明致シマセウ、異議ト云フノハ登記手續ニ反シタ取扱ヲシタ場合ト云フ意味ナデス、不動産登記法ノ規定ニ違背シタ取扱ヲシタトキニハ、管轄地方裁判所ニ抗告スルコトヲ得ト云フ意味ニ見テ宜シイノデゴザイマスカ

○政府委員(田部芳君) 唯此ノ少シノ權利ノ消長ニ關係ノナイ如キ場合ハ、ドウモ權利ヲ害サレタト云フ譯ニハ往キマセヌ、ソレガ直接或ハ間接ニ權利ヲ害サレルコトニナリマスレバ、無論本條ノ適用ヲ見ルガ、些細ノコトハ此抗告手續ニ依ルコトガゴザイマス、餘リ始終サウ云フ不都合ヲヤル登記官吏ナラバ、監督デ又責メル道ガアラウト思ヒマス

○(平岡萬次郎君) サウシマスルト少シ前ノ御答ト後ノ御答ト意味ガ違フヤウデスカ、前ノ御答ニ依レバ規定ニ背イタ場合ハ管轄地方裁判所ニ抗告ガ出來ル、後ノハ申請スル者ノ權利ヲ害セラレナケレバ、多少便宜ヲ失フ共此規定ニ往カヌタメニ、申請人ガ便宜ヲ失フト云フヤウナコトガアッタ場合ニハ、ソレハ權利ヲ害セラレタト云フ範圍ニナラヌカラシテ、抗告ハ出來ヌト云フコトニ歸着スルヤウニ聞ヘマスガ、ドウ云フモノデアリマスガ

○政府委員(田部芳君) 多クノ場合ニ於テハ、モウ却下セラレルト云フト權利ヲ害セラレルコトニナル、併ナガラドノ場合デモ權利ヲ害セラレルト云フトコトヲ、一概ニ云フコトハムヅカシイ、權利ヲ害セラレルト云フトコトノ解釋ハ、隨分ムヅカシイ問題デアリマシテ、隨分廣ク解釋スベキ性質ノモノデアリマス

○(平岡萬次郎君) 尙ホ御聞キ申シマスガ、少シ權利ト云フト御答ニ依リマスレバ、此規定ニ背イタ場合ト云フト、此範圍ガ違フヤウニ思ヒマス、私共ハ斯ノ如キコトハ、範圍ヲ廣クシテ置イテ、若シ此規定ニ背イタ場合ハ、アラユル場合ニ抗告ガ出來ル道ニシタ方ガ、人民ノ便利又ハ取扱フ人モ、此法律ヲ遵守スル道ニナルデアラウト思フ、ソレデ私共カラ考ヘマス、此登記法ノ規定ニ背イタトキニハ、總テ抗告ガ出來ルト云フヤウニ、アラユル場合ヲ含マシタ方ガ宜カラウト思ヒマスガ、政府ノ方ハソレマデ此中ヘ入レナカッタト云フコトハ、如何ナコトデアリマスガ

○政府委員(田部芳君) 登記法ノ規定ニ背イタト云フトデハ、却テ本員ノ考ヘデハ狹キニ失スル、權利ヲ害サレタト云フトナラバ、餘程範圍ハ廣イノデアリマシテ、直接間接ノ結果權利ヲ害セラレルト云フナラバ、抗告ガ出來ルト云フコトカラ、却テ廣クナリマス、苟モ損害ヲ加フルト云フヤウナ場合ナラバ、尙ホ此外ニ賠償ノ責任モ登記官吏ニ負ハシテアル、唯漠然ト利益ヲ害サレタト云フトコトデハ、餘程範圍ガ漠然トシテ困ル、權利ヲ害サレタ場合ナラバ、登記抗告ヲシテ許シテモ宜カラウガ、權利ヲ害サレタ場合ニ抗告ヲ許ス必要ハナイト認メマシタ

○(平岡萬次郎君) 私ハ解シ兼ねマスガ、權利ヲ害サレタレバ——單ニ自分ノ持ッテ居ル此權利ヲ害サセラレタナラバ、此處ニ此規定ガナクとも、ソレハ民法上ノ規定ニ依ッテ總テノコトハヤレマス、此中ノ登記官吏ガ過失シタ場合ハ、責任ヲ負フト云フトモアリマス、所ガ登記官吏ガ此規定ヲ遵守シテ取扱ッタコトハ、多少人民ガ權利ヲ害スルトモ、ソレハ法ノ惡イノデアッテ、決シテ抗告シテ異議ヲ云フ道ハナカラウ、ツレデアリマスガ、要スル

ニ抗告スル場合ハ、此登記法ノ規定ニ依ッテナイ、是ニ背イタ場合ハ、抗告
ガ出來ルト考ヘマス、ソレデ餘程便宜ヲ失ツタト云フ場合ハ此處ニ含マス、文
字ハドウデモ宜シイガ、此規定ニ背イタ場合ハ、總テ抗告ヲ許スト云フコト
ニシタ方ガ廣クナリマス、若シ政府委員ノ今ノ説明ノ通デアルト、其意思ト
反シタ結果ガ顯レテ來ヤウト思ヒマス

○政府委員(田部芳君) 大抵討論ノヤウニ……

○(平岡萬次郎君) 宜シウゴザイマス

○(根本正君) 此百六十二條デ……

○委員長(中村榮助君) 附則デスナ、ソレデヤア是モ合セテ百六十四條マデ
サウ云フコトニ致シマス

○(根本正君) 百六十二條ヲ見マスルト、此法ガ施行スル一年內ニ債權者ヨ
リ其登記ヲ申請シナイトキニハ、無効ニナルトアリマスガ、サウスルト
既得權ヲ——既ニ濟ンダモノヲ又ヤルト云フコトニナリマスガ、餘程差別ガ
アッテ已ムヲ得ナイデ、斯ウ云フ風ニナルノデアリマス

○政府委員(田部芳君) 是モ御承知ノ通、各區裁判所竝ニ出張所ニハ、以前
ノ戸長役場カラ、公證ノ書類ガ引繼イデアル、其公證ハ登記ト同シ效力ガ持
タシテアルデアリマスカラ、一ツノ登記ヲスルニ當ッテハ、其前ノ古い書類
マデ調べテ、其土地ノ上ニ書入質入業ハナイカトカ、一々調べナケレバナラ
ヌ、ソレデ隨分書類ガ不都合ニ出來テ居ルノガアルラシイ、ソレガタメニ事
務ヲ取扱フニ付イデハ、困難ヲ感ジテ居リマス、併シ實際ノ所ハ、帳面ノ上
ニ權利ガアルガ如クデアリマスケレドモ、實際ハ貸借モ濟ンデ、抵當權ガ消
エテシマッタノガ十二八九アリマス、ソレデドウモ此際斯ウ云フ便法ヲ設ケ
テ整理ヲシマセスト、イツマデモ古い帳面ガ殘ッテ、事務ヲ取扱フ上ニ於テ
困難ヲ感ズルデアリマスカラ、表面カラ云フトエライヤウダケレドモ、實際
ニ於テハ餘リヒドイコトデナイ、尤モ登記ニ附イテハイヅレ登錄稅法ニモ別
段ノ規定ガ設ケラレルコトニモナラウト考ヘマス

○(岡野寛君) 百五十八條ニ、抗告ノ決定ニ對シテ法律ニ違背シタル決定ナ
ルコトヲ理由トスルトキニ限リ抗告ヲ爲スコトヲ得ルノハ、是ハ上級裁判所
ヘ抗告ヲ爲スコトガ出來ルノデゴザイマセウカ、其裁判所ヘ前ニゴザイマス
地方裁判所ヘ、矢張直ニ抗告スルノデゴザイマセウカ

○政府委員(田部芳君) 抗告ト云フコトハ、其性質ハ何デアルカト申シマス
ルト、一ノ上訴デアアル、上訴デアリマスカラシテ、地方裁判所デ第一ノ抗告
ニ就イデ決定ヲスル、其抗告ニ不服デアレバ、其地方裁判所ヨリ上級ナル所
ノ控訴院ニ、ドウシテモ抗告セネバナラヌト云フコトニナルノデゴザイマセ
ウ、ソレハ詰リ抗告ト云フモノ、性質カラ極マルト云フノデ、別段ニ此處ニ
ハ極メデアリマセヌガ、サウ云フコトニナリマス

○(岡野寛君) 尙ホ御質致シマスガ、サウシテ矢張是ハ上告モ許シテゴザイ
マスカ

○政府委員(田部芳君) 上告ハ許シテゴザイマセヌ、此抗告例ヘバ第二ノ抗
告ニ就キマシテ、控訴院デ決定スルト、其決定ニ就イテ又第五百五十八條ノ條
件ガ具備スレバ、又更ニ大審院ニマデ抗告ガ出來マス、併シ上告ハ許シマセ
ヌ

○(根本正君) 第六十條ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト云フ規定ガアル、是ハ政
府ノ御見込ハイツノ頃カラ之ヲヤル積リデアリマスカ

○政府委員(田部芳君) 此法案ガ法律トナリマシテ之ヲ施行スルニ就キマシ
テ、種々ノ不足ノ帳簿ノ組織ダトカ、或ハ其他訓令省令等モ澤山作ラナケレ
バナラヌ、又殊ニ帳簿ヲ新タニ作ラナケレバナラヌ、是ハ紙ヲ誂ヘテソレカ
ラ印刷シテ製本スルト云フヤウナ色々手數ガアリマス、又此外ニ愈々豫算ヲ
提出致シマシテ、豫算ガ通過致シマシタ後ニハ、人ヲ拵ヘナケレバ今ノ人デハ
出來マセヌノデ、旁々色々準備ノタメニ、結局早クモ六月ノ半バ過デナケレ
バ、施行ハ出來ヌト云フ見込デゴザイマス

○(横山通英君) 此百六十二條ノ公證ヲ經タル證書面ノ權利ニ付イデハ、本
法施行ノ日ヨリ一年內ニ債權者ヨリ其登記ヲ申請セザルトキハ、其權利ハ公
證ノ効力ヲ失フ——此舊ノ布達ノ規則ニ依ッテ公證ヲ受ケタル所ノ書面ガ、
凡ソ統計上デマダドノ位殘ッテ居ルモノカ、其邊ガ分ッテ居ルナラバ、御示
ヲ願ヒマス、サウシテ此法律ガ發布後續々申請ヲシテ參ッタ時分ニハ、一年內
デ大概整理ハ出來マス御見込デアリマスカ、其二點ヲ伺ヒマス

○政府委員(田部芳君) 唯今此舊公證ガ現存シテ居ルノガ、トノ位ト云フコ
トハ分リマセヌ、調べテゴザイマセヌカラ——調べタラ或ハ分リマスデゴザ
イマセウガ、今書類ヲ持ッテ居リマセヌ、全體ノ其土地ニ就キマシテ、ドノ
位ノ登記ニナッテ居ッテ、ドノ位登記ニナッテ居ラヌト云フコトハ、ソレハ
分リマス、其内ガトノ位舊公證デアッテ、ドノ位ガ新登記デアルト云フコトハ、
チヨット區別シテゴザイマセヌカラ、唯今分リ兼ネマス、次ニ御尋ニナリマ
シタ點ハ、一年內ニ更ニ登記ヲ請ヒマセヌト云フト、此舊公證ノ効力ヲ失フ
ト云フデアリマスカラ、更ニ登記ヲ請フタノハ新帳簿ニ移ス、此登記ヲ請
フタモノハ効力ヲ失フカラ、其帳簿ト云フモノハ詰リナクシマッテ、處
分シテシマッテモ宜イ譯ニナリマスカラ、ソレデ大抵始末ハ付ク見込デアリ
マス

○委員長(中村榮助君) 諸君如何デス、逐條ノ御質疑ハ先ヅ豫メ濟ンダヤウ
デスガ、イヅレ又決議ノ場合ニモ御質疑ガアルデアリマセウ、コンナコトニ
シテ宜シウゴザイマセウカ

(「宜シウゴザイマス」ト呼フ者アリ)

○委員長(中村榮助君) ソレデハ質疑ハ一通終ッタモノト致シテ、是ヨリ逐
條ノ決議會ヲ遣リマス

○(關直彦君) ナカ——一條宛ヤッテ居ッテハ、甚ダ面倒デスカラ、成ルベ
ク一章宛ヲ問題ニシテ、サウシテ説ヲナサル方ハ、成ルベク此條ノ順序ヲ追

フテ、御發議ヲナサツテイラツシヤル方ガ、簡便デ宜カラウト思ヒマス

○委員長(中村榮助君) ソレデハ關君ノ御注意ノ通、一章ゾ、ヤルト云フコトニ致シマス、別段朗讀ハ致シマセヌカラ、ドウゾ成ルベク順序ニ御意見ノゴザイマス所ヲ御述ベニナルヤウニ願ヒマス

○(根本正君) 第一條ノ三ノ永小作權ト云フノハ、期限ヲ極メナイノヲ言、タノデゴザイマセウカ、或ハ二十年トカ期限ヲ極メナイノヲ言ツタモノデスカ、或ハ二十年トカ三十年ト云フ期限ガアルノデスカ

○政府委員(田部芳君) 此永小作權ノ期限ニ附キマシテハ、民法ノ第二百七十八條ニ、二十年以上五十年以下ト云フコトニナツテ極ツテ居リマス

○(根本正君) 期限ノナイノハ……

○政府委員(田部芳君) 期限ノナイノハ、或ハ賃貸借トカ云フモノニナルコトガ多クアラウト思ヒマス

(他ニ意見ナシト呼フ者アリ)

○委員長(中村榮助君) ソレデハ第一章ヲ採決致シマス、第一章ハ別段御意見ガゴザイマセヌカラ、可決ニナツタモノト致シマス次ニ第二章ノ全部ヲ提シマス

○(關直彦君) 此第十條ノ「登記所ニ於テ其事務ヲ停止セサルコトヲ得サル事故ノ生シタルトキハ司法大臣ハ二箇月ヲ超エサル期間其停止ヲ命スルコトヲ得」トアリマス、是ハ色々此ノ場合ガ事ニ依ツテ違フト思ヒマスカラ、或ハ一箇月若クハ二箇月ト云フテ、豫メ法律デ切ツテ置クト云フコトモ窮竊ト思ヒマスカラ、二箇月ト云フノヲ「一定ノ期間ノ停止ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトニ修正シタイト思ヒマス、餘リ是ハ權利ノ消長ニモ關係セヌコトデ、唯便利ヲ計ルダケノコト、思ヒマス

○(平岡萬次郎君) 「期間ヲ定メテ其停止ヲ命スルコトヲ得」ト云フコトニシタラ宜イデセウ

○(關直彦君) ソレデハ平岡君ニ賛成シマセウ

○(西原清東君) 私ハ原案ノ通デ宜イト思ヒマス、關君ノ御説ニモセヨ、岡野君ノ御説ニモセヨ、此法文ノ通ニモセヨ、何月何日ヨリ何月何日マデト云フコトヲ定メテ停止スルニ違ヒナイ、ソレデ法文デ二箇月ト云フノハ、二箇月ヨリ長カラシメザル長期ノ範圍デアル、成程斯ウ云フ長期ノ範圍ガ惡イト言ヘバ、行政官ニ事項ヲ理由シテ、長期ノ停止ヲサセザルヤウト云フ心配カラ出タ規定デアリマスカラ、是ハ定メテ置ク方ガ宜イト思ヒマスカラ、原案ニ賛成ヲ致シマス

○(小山久之助君) 私ハ平岡君ニ賛成致シマス、二箇月ト云フテモ天災地變ハ二箇月デ必ラズ終ルカ何ダカ分ラヌ、ソレニ二箇月ト云フコトヲ想像シテ書クノハ、昨日ノ御辯明ニモ、二箇月デ宜カラウト云フ位ノ御話デアリマスカラ、ソレヨリ一定ノ期間ヲ定メテ、其停止ヲ命ズルトシタ方ガ宜イト思ヒマス、二箇月ト云フヤウニ窮竊ニシテ置カナクトモ宜イノデ、若シソレガ二

箇月以上ニ涉ツタトキハ困リマスカラ

○委員長(中村榮助君) ソレデハ採決致シマス、平岡君ニ伺ヒマスガ、サウスト司法大臣ノ後トヲ削リマシテ「期間ヲ定メ其停止ヲ命スルコトヲ得」トスウナリマスカ

○(平岡萬次郎君) サウデス

○委員長(中村榮助君) ソレデハ平岡君ノ修正説ニ御同意ノ諸君ハ、舉手舉手者 多數

○委員長(中村榮助君) 多數ト認メマスカラ、平岡君ノ修正説ノ十條ハ決シマシタ、他ニ御説ハゴザイマセヌカ、如何デス

○政府委員(田部芳君) 唯今御決議ニナリマシタガ、其定メノ下ニ「デ」ガ這入ツタ方ガ宜イト思ヒマスルガ……

○(平岡萬次郎君) ソレハアルノデス

(後トハ原案賛成ト呼フ者アリ)

○委員長(中村榮助君) 他ニ御説モナイヤウデアリマスカラ、採決致シマス——他ノ條目ニハ御説ガゴザイマセヌカラ、原案可決ト致シマス、ソレデハ引續イテ第三章全部ヲ議スルコトニ致シマス

○(平岡萬次郎君) 此前ニ修正ガアレバ後トニ致シマスガ、ナケレバ此二十一條デゴザイマスガ、二十一條ヲ斯ウ云フヤウニ修正シタイ「何人ト雖モ手數料ヲ納付シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求シ又」トアル此以下「利害ノ關係アル部分ニ限リ」ト云フ此「一字ヲ削リマシテ」登記簿又ハ其附屬書類ノ閱覽ヲ請求スルコトヲ得」ト續ケル、斯ウ致シマス、ソレカラ但書ヲ削ッテシマイマス、詰リ利害ノ關係アル部分ニ限リ利害ノ關係ガナケレバト云フヤウナ窮竊ナコトヲ自由ニシヤウト云フノデス

○政府委員(倉富勇三郎君) 此點ニ付キマシテハ昨日モ略申述べマシタ通、何カ一ツ制限ヲ置カレヌト、隨分登記所ノ方デ困リマスノデ、如何ニモ法律文トシテ利害ノ關係アル者ニ限リナドト云フ、制限的ノ文字ヲ置キマスルト、實際不便ノヤウニ御感シニナルノデアリマセウガ、昨日來追々申述べマシタ通、登記簿ノ閱覽トカ、附屬書類ノ閱覽ト云フコトハ、何ゾ目的ノアル場合ガ多イノデアリマス、必ズ其請求ニ行ク人ハ、何カ利害ノ關係アルモノト思ヒマス、ソレデ事實ガ利害ノ關係ガアツテ、閱覽ヲ請求シニ往クナラハ、此法文ニ其事ヲ書キ顯シテ置イテモ、其文字ガアルガタメニ、決シテ閱覽ニ不便ガアルト云フ懸念ニハ及ブマイト思ヒマス、ソレデ此但書ノコトニ付イテ、昨日來段々御議論ガゴザイマスケレドモ、是ハ昨日申述べマシタ通、疏明ト申シマシタ所ガ、左程裁判所デ訴訟スルトキノ疏明方法ト云フヤウニ嚴酷ナコトデゴザイマセヌ、登記官吏ガ尤デアルト云フコトヲ感ズレバ、ソレデ濟ムノデアリマス、ドウカ是ハ原案ノ通ニナルコトヲ希望致シマス

○(關直彦君) ソレハ政府委員ノ御説ノ通、煩雜ナ手數ヲ掛ルデゴザイマセウケレドモ、成ルベク斯ウ云フコトハ、登記所ニ手數ガ掛ツテ面倒ガアツテ

モ、人民ノ方ニ簡便ナ方ガ宜シイコトデアリマスカラ、登記ノコトナド、云フモノハ、實ニ私共平生取扱ッテ居マシガ、誠ニウルサイ、況ヤ素人ニ於キマシテハ、最モ困難ヲ感シマスカラシテ、是等ハ成ルベク區域ヲ廣クシテ、成ルベク便利ヲ與ヘルト云フコトニ致シタイと思ヒマス、ドウカ平岡君ノ説ノ成立ツコトヲ希望致シマス

○政府委員(田部芳君) 尙ホ私モ一言加ヘテ置キタイデゴザイマスガ、或ル御説ノヤウニ登記所ノ面倒ダト云フヤウナコトハ、サウヤカマシク云フベキモノデナイ、寧ロ人民ニ便利ヲ與ヘルガ宜イト云フ御説ガアリマシタガ、ソレハ言葉ノ議論カ知リマセヌガ、決シテ吾々ノ方カラ申シマシテモ、登記所ノ面倒ト云フコトハ、誠ニ語弊ノアルコトデ、サウ云フ風ニ云フノデアリマセヌ、趣意ハ——此或ル時機ニ當リマシテハ、隨分其多クハ登記ガ輻湊シテ參リマス、サウスルト云フト帳面モ無制限ニ見ルコトガ出來ルト云フト、成程見ル方ガ大變便利デアル、併シ他ノ多クノ今抵當ニ土地ヲ入レテ、金ヲ借リル時機ニ際シテ居リ、或ハ成ルベク此登記ガ濟シデ金ヲ借入レタイト云フ希望ヲ持ッテ居ルモノガ、澤山アル、其方ガナカク急ニ登記ガ出來ヌ、帳簿ヲ見ル方ノ者ハ權利ヲ持ッテ居ルカラ、見セヌ譯ニイカヌ、サウスルト云フト矢張結局是ハ他ノモツト直接利害ノ關係ヲ持ッテ居ルモノ、ソレカラ此地所ヲ買フカ知ラヌ、是カラ此人ニ金ヲ貸シテ、是々ノ地所ヲ抵當ニ取ラウト云フヤウナ人ハ、登記簿ヲ見ル位ノ人ヨリハ、尙ホモウ少シチヤント契約ガ濟シデ、チヤント金ノ授受ヲシテシマツタト云フ如キ、モウ是非共早ク登記ヲセネバナラヌト云フ非常ニ必要ニ迫ッテ居ル人ノ方ガ、却テ登記ガ早ク終ラヌデ困ルト云フ非常ナ申請人ノ方ニ取ッテモ、困ルコトガ出來ルデアラウ、夫故ニドウシテモ何カ制限ガナイト云フト、サウ云フヤウナ場合ニ却テ困リマスカラ、ソレハ餘程考ヘナケレバナラヌコトモアラウト思ヒマス、御參考ノタメニ一言申シマシタ

○(西原清東君) 元來本案ノ性質ト云フモノハ見セベキ目的ヲ以テ登記ヲスルノデアリマスカラ、見セルト云フ事柄ハ、見ニ行キタイト云フ希望者ニハ、何ノ必要何ノ理由ナドト云フコトヲ問質スノ必要ハナイト思フノデゴザイマス、又ソレヲ辯明シテ、輕ウジテ拜見ガ出來ルト云フヤウナ、窮窟ナ規程ヲ定ムベキモノデハナイデゴザイマス、即チ實ニ一般ニ見セベク設ケラレタル記録デゴザイマス、ソレカラ無制限ニ見ルト、大分扱上實際困ルト云フヤウナコトハ、ソレハ閱覽ヲ許ス規定ヲ勅令ニ依ッテ定メタナラバ宜イト思フノデゴザイマス、ドウセ此法ノ施行ニ關スル規定ハ、細則ヲ司法大臣ガ定メルモノデゴザイマスカラ、毫モ此閱覽ノ制限ヲ本則ニ立テ、置ク必要ガナイト思フノデゴザイマス

○(小山久之助君) 私ハ原案ヲ賛成スルノデゴザイマス、昨日來深ク考ヘテ見マシタガ、是非斯ウシテ置カナケレバナラヌ、唯原案ヲ賛成シマスルガ、政府ニ向ッテ望ンデ置クコトハ、登記官吏ニ向ッテヤカマシイコトヲ言ハナイ

ヤウニ、疏明ノ仕方ヲ誠ニ簡便ニシテヤルヤウニ訓示シテ貰ヘバ、ソレデ宜シイ、無制限ニシテ置クト、利害ノ關係者ガ非常ニ迷惑ヲ感ズルト存ジマス、又無制限ニヤツタ所ガ執達吏役場ノ貼札ハ違ヒマス、登記簿ハ誰デモ謄本ニ見ルト云フ譯デハアルマイト私ハ考ヘマス

○(根本正君) 實ニ毎日事務ヲ扱フ席ニ澤山ナ人ガ來ラレルト、其事務ヲスルコトガ出來ナイト云フコトモアルカラシテ、見セルト云フ主義ハ極ク宜イカラ、私モ賛成スルガ、之ヲ暮トカ七月トカ云フ時期ニ澤山來タ時分ニ、之ヲ排斥スルト云フコトニナレバ、來タ人モ迷惑、又之ヲ取扱フ人モ其人ニ對シテ氣ノ毒デアアルカラシテ、一週間ニ水曜日ノ午後トカ、又土曜日ノ午後トカ云フモノニ限ッテ見ラレル、斯ウ云フ風ニスルノガ、私ハ最モ宜カラウト思フ、サウスレバ其日ハ見ラレルコトデアアルカラ、必要ガアレバ、一週間ノ中ニ二度ナラバ二度、サウ云フ風ニ與ヘテ置ケバ、一向見セルノニ差支ガナイ

○(關直彦君) ソレハ實ニ難儀ダ、何カ必要ガアッテ、彼人ノ此地面ガ、ドッカニ番抵當ニ這入ッテ居ルカ、一番抵當ニ這入ッテ居ルカ、金ヲ貸サナケレバナラヌトキニ見ニイカナケレバナラヌ、ソレガ水曜日デナケレバイケヌト云フコトニナルト、大變困ル

○(根本正君) ソレヲ論ズル日ニナルト、當日ニ五百人モ集ツタナラバ、其五百人ノタメニ臨時ニ來タ人ニ見セルコトガ出來ヌ

○(平岡萬次郎君) 是ハドコマデモ自由ニシナケレバナラヌト思フ、モウ始終是マデノ立法ノ傾キガ斯ウ云フ傾キデアアルカラ、是ハ是非總テ斯ノ如キコトハ、自由ニスルト云フ傾キヲ以テヤラナケレバナラヌト私ハ考ヘマスガ、此山間僻地ニ往クト、登記所ニ出掛ケテ往クダケガ、餘程苦勞デアアル、向フヘ往ッテ發言スルノニ、脊ニ汗ヲカイタリ、顔ニ汗ヲカイテ、漸ク自分ノ意思ヲ言ッテモ、尙ホ言盡セナイ、疏明スベキコトニナルト、疏明ノシヤウガ善イトカ惡イトカ、ソレガタメニ却テソレヲ見セヌト云フヨリハ、餘計時ヲ費ヤス程デアリマスカラ、是ハモウソナコトヲセズ、自由ニ見セルコトニシナケレバナラヌコト、考ヘマス、凡ソ物ニハ程度ノアルモノデアアル、一ノ登記所ノ事務ニ差支ヘルト云フ如ク、其日ニ澤山ヤツテ來ルモノデアリマセヌ、又偶、サウ云フコトガアレバ、夜通シテ見セルガ宜カラウト考ヘマス、少シモ差支ノ起ラヌコトデアリマス、斯ノ如キ制限ハ却テ色々ノ害ガ多ク、又人民ノ怨ヲ買フト云フ、本日茲ニ出來テ來ル立法者ノヤウナ考デ、總テノ登記官吏ガ取扱フナラバ、何ニモ弊害ガ起リマセヌガ、隨分疲レタトキ事務ノ輻湊スル場合ニハ、好イ加減ナコトヲ言フデ、疏明ノ仕様ガ惡イカラ、明日出デ來イト云ウテ、其日ニヤラヌコトガ實際ニ於テ生ズルノデゴザイマスカラ、此必要ナ場合ニ於テ、サウ云フコトガ出テ來ルカラ、斯ウ云フ不自由ナコト、害ノ生ズルコト、腹ノ立ッヤウナ官民ノ意思ガ通ラヌヤウナ原因ハ、作ラズニ置ク方ガ宜カラウト私ハ思フ、前ノ修正説ヲ主張致シマス

○(根本正君) 此手數料ハドノ位デアリマスカ、其手數料ニ依ッテハ宜シウ

ゴザイマセウガ、手数料が少ナカタラバ、随分澤山來ルダラウト思フ
 ○政府委員(田部芳君) 此法案ニハ定メタモノハゴザイマセウ、イヅレ命令ヲ以テ定メルコトニナリマセウ、併シ極ク僅カナモノデアラウト思フ、現今ノハ登記法ノ第三十條ニ手数料ガ五錢ニナツテ居リマス、ヒドクシタコロコガ、拾錢位デアリマセウ

○(關直彦君) 此疏明ト云フコトハ、私ハ元來嫌ヒナモノデ、屢々私共ガ此辯護士ノ業務デ以テ裁判ニ於テ時々疏明スルト云フコトガアツテ屢々刻付ケラレルコトガアルノデス、ソレデ登記法ノ政府委員ハマダ其下ニ立ツテ、サウ云フ迷惑ヲシタコトハ御存ジナカラウト思フ、況ンヤ百姓ガ登記所ヘ行ツテ疏明スルト云フコトハ、到底出來ルモノデナイ、必ズ代書人カ何カニ頼ンデ書イテ貰フノデ、又五錢モ出サナケレバナラヌコトニナルカラ、是ハサウデナイヤウニ……

○政府委員(田部芳君) ドウモ疏明ト云フ字ガアリマス、嚴カメシイヤウニ考ヘマス、成程關君ノ仰セノ通り或ハ訴訟上ノコトニ付キマシテハ、随分困難ナ場合ガアラウト思ヒマス、併シ此場合ニ於テノ疏明ト云フコトハ、ソシナムヅカシイノデナクシテ、私ハ斯ウ云フ者ニ金ヲ貸サウト思フガ、其地所ガ抵當ニナツテ居ルカラヌカ見タイ、或ハ此地所ヲ買ヒタイガ、併シドウ云フ負擔ガ付イテ居ルカト云フコトヲ實ハ見タイノデスカラ、ソレデ登記簿ヲ見タイト云フコトヲ言ヘバ、宜イノデス、是ハ子供デモ言ヘル位ノコトデアラウト思フ

○(岡野寛君) 私ハ贊否ヲ決スルタメニ伺ヒタイノハ、此二十一條ノ第一項ノ方ニ登記簿ノ謄本又ハ正本ノ交附ヲ請求ストアリマスケレドモ、此交附ノ正本謄本ノ所ニハ、附屬書類ト云フコトヲ入レテゴザイマセウガ、是ハドウ云フ譯デアリマス

○政府委員(田部芳君) 御答致シマスガ、立法上デ成程附屬書類謄本又ハ正本ヲ交付スルト云フコトヲ加ヘラレヌデアリマセウガ、附屬書類ト云フト、將來ノ參考ニスルニ過ギヌノデアリマシテ、必要ナル事項ハ帳簿ニ載セテアリマス、大抵ハソレデ足リルノデアルカラシテ、其附屬書類ト云フコトヲ入レテ置キマス、随分中ニハ大キナモノモアリマセウカラ、ソレ程ノ必要モアルマイ、見セル丈ハ見セテ宜カラウト云フ位ノ趣意デアリマス

○(岡野寛君) 尙ホ御尋ネ致シマスガ、此但書ノ所ノ關係ヲ疏明スルコトガ、少シヤカマシクナツテ居ルノデゴザリマスガ、是ハ御示談ノ上疏明ト云フ文字デナク、申述ト云フ位ニ變ヘルコトガ出來ヌノデセウカ

○委員長(中村榮助君) ソレデ此前ノ平岡君ノ御説ハ、單ニ但書ヲ削ルト云フコトニナツタノデスカラ、其事ニドウゾ御承知ヲ願ヒマス——モウ採決致シマス、第二十一條但書ヲ削ルト云フ平岡君ノ御説一ツデゴザイマスカラ、是ニ付イテ採決致シマス、平岡君ノ修正説ニ御同意ノ御方ハ舉手ヲ願ヒマス

舉手者 多數

○委員長(中村榮助君) 多數、サウスルト他ハ御説ハゴザイマセスカラ、原案可決ト認メマス

○(岡野寛君) チョット關君ニ御尋ネシマスガ、此二十三條ニ司法大臣ハ三箇月ヨリ少ナカラザルト云フコトガゴザイマスガ、此事ニ付イテハ前ノ意思ヲ繼イデ、司法大臣ニ總テ任セルト云フ風ニヤラヌノデゴザイマスカ
 ○(關直彦君) 是ハ此儘ニシテ置クノデス
 ○委員長(中村榮助君) ソレデハ本日ハ是マデニ致シマス

午後三時二十三分散會